

# 予算決算審査委員会報告書

平成29年9月28日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 橋本逸夫

平成29年9月28日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第98号 平成29年度備前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	なし



## 予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	平成29年9月28日（木）	本会議休憩中		
開議・閉議	午前10時05分	開会　～	午前10時32分	閉会
場所・形態	委員会室A B	会期中(第4回定例会)の開催		
出席委員	委員長	橋本逸夫	副委員長	川崎輝通
	委員	山本恒道		尾川直行
		田口健作		津島　誠
		掛谷　繁		守井秀龍
		立川　茂		西上徳一
		山本　成		石原和人
		森本洋子		星野和也
欠席・遅参・早退委員	なし			
列席者等	議長	鶴川晃匠		
説 明 員	市長室長	大西武志	危機管理課長	小川勝巳
	総合政策部長	佐藤行弘	財政課長	河井健治
	市民生活部長	今脇誠司	市民窓口課長	山本啓之
	環境課長	久保山仁也		
	まちづくり部長	中島和久	里海・里山課長	坂本基道
	まち整備課長	淵本安志		
	日生総合支所長	大道健一	吉永総合支所長	金藤康樹
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	あり		
審査記録	次のとおり			

## 午前10時05分 開会

○橋本委員長 ただいまの出席は14名であります。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

それでは、早速、議案第98号平成29年度備前市一般会計補正予算（第3号）の審査を行います。

議案全体を通じて質疑を希望される方、挙手をお願いいたします。

○掛谷委員 8、9ページの繰入金、基金繰入金、財政調整基金、3,373万1,000円繰り入れております。どういう理由で繰り入れされたのか、詳細についてお聞きします。

○河井財政課長 このたびの災害の分で、補助債については県補助金、それから起債が適用できるものについては起債を財源としておりますが、修繕関係というものが多く、そういったものは起債の対象にもなりません。ですから、そういった歳入と歳出を差し引きした差額の不足する部分について、財政調整基金からの繰り入れを行っております。

○掛谷委員 もう災害のみと、間違いないですね。

○河井財政課長 選挙については、全額県から交付金がありますので、災害に関する経費のみという、その他の経費については災害に起因するものという予算の計上でございます。

○山本（恒）委員 この間の総務産業委員会でも被害場所が出てきていたが、私きのうずっと大谷川など見て回ったが、まだ手つかずか、よう見てない場所ですか、そんな分はもっと膨れて出てくるんじゃないのか、井でどさっと出しとんかな。

○淵本まち整備課長 現在、手つかずのところについては、まだ緊急性がないということで予算が通過後に業者をお願いする予定で、一応把握できているところについては全て今回この予算の中に盛り込ませていただいております。

○山本（恒）委員 そうじゃなしに、誰も見とつても言うてこんからというんでしょう。やっぱしこんな災害があったら、一通り2人ずつほどで分かれて、うちのほうを見るというたって1時間半か2時間あったらスーっと林道へ行って、上がってきておいてというだけですぐわかりますが、写真撮るかかわらんけど。そんなんで、3日か4日たったらばさばさっと書類が出てきて、そねえなかったら今後はよう気をつけてやってもらわないけんわ。そこら周りをびっちりした答えを出してくれないけんわ。

○淵本まち整備課長 災害後、まち整備課を含めてそれぞれ各班分かれ、2人ないし3人のグループになって、一応通報のあったところ、それから通報のないところも市内は一応巡回はさせていただきます。そういう中で、おっしゃられるように、落ちが当然あるとは思いますが、今後も巡回はもちろんするんですけども、出てきたところについてはもうそこは確認できないということですので、申しわけないですが後の対応になってしまいます。

○橋本委員長 ほかにございませんか。

○掛谷委員 今、山本委員の話の中で、今わかっている災害を復旧せないかんとところが出てきている、今時点でね。これからそういうものが仮に出てきた場合、こういうところが傷んどんじ

や、ちょっとよう言わなんだとか今の話ですわ、そういうことについての災害としての基準、そういう認定をするのにどういった河川とか道路とか、まあほかにもあるでしょうけど、後日出てきた場合にはどういうふうな動きを市当局はされるのか、もちろん災害復旧の補助金適用になる場合とならない場合がありますし、その後日起こったことについての対応はどうされるのか、お聞きします。

○**淵本まち整備課長** 一応、今回の予算の中に、まだ確認できていないところが後日出たときに対応できるための修繕的な予算を若干見込ませていただいております。それで対応できる分については、その見込ませていただいている中で対応していきますが、それで対応できないぐらいの大規模なものになると、再度予算を上げさせていただくような形になろうかと思えます。

○**掛谷委員** 基本的にはもう掌握されて、そういうものはほとんどないと考えといてもいいでしょうか。

○**淵本まち整備課長** 大規模なものはないというふうには考えております。

○**橋本委員長** よろしいか。

○**田口委員** この災害箇所について、備前アプリで、何件ぐらい消防団、区長含めて災害箇所の情報が上がってきたのでしょうか。

○**大西市長室長** 備前アプリの掲載についての件数は今すぐ把握はできませんが、危機管理課で被災地の状況について把握させていただいたのは、先日本配りした被災状況等によるもの……。

〔「委員長、聞きょうらんことを答弁しょうる」と田口委員発言する〕

○**橋本委員長** 何件ほど出てきたのかということをお聞きしていますが、わからんのだったら後で。

○**大西市長室長** 済みません。備前アプリに掲載したものについて、ちょっと集計させていただきます。

○**田口委員** 備前アプリに掲載したものを聞いている、私は。備前アプリで何件の災害情報が入ったのかを聞いているわけで、把握していないのはどういうことなのか、おかしい。何のためにお金をかけているのか、消防団にも渡す、それぞれ町内会長にも渡す、何のためにお金をかけよっているのか、ITに。もう前市長がおらんようになったので、あの話は終わったのか。答弁できないだなんて、とんでもない話じゃ、確認を。

○**橋本委員長** 暫時休憩いたしますので、確認してきてください、備前アプリでどういう災害情報が市民から寄せられたか。なかったら、ゼロ件ということでもいいですから。

午前10時15分 休憩

午前10時20分 再開

○**橋本委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

執行部の答弁を求めます。

○**小川危機管理課長** 備前アプリで市民の方々から入ってきた情報は、申しわけありませんけれ

どもゼロ件であります。直接……。

**○田口委員** 私は送りましたよ。大道君、納得しとろう、どういうふう把握されよるわけ。そんなもんどこに届くんか知らんよ、私は。それと、この件もこの件じゃけど、さっきも言ようるように漏れとるところがあるんじゃないんかとかというて、当然2人、3人で回っても市内結構広いから、広いし道路もいっぱいあるから、当然市民の人にやっぱりそういう情報を寄せてもらう、そのためにアプリをつくっとんじゃから。そういうところからこんだけの予算組みながら、私が送った1件しかないというぐらいしか使われんのんだったら、もうアプリそのものを廃止にして、そのほうがええんじゃない。つくったって指導せんものじゃから、送り方を。アプリを更新して、どんだけの人がダウンロードしとるかというのは把握しとるとは思うけど、もっとあるものを有効に協力してもらうようお願いしたら私はしてくれると思う。落ちはできるんだけど、できるだけやっぱり落ちが少なくなるように、市民も議員も協力してもらってしていくという体制がとれんのんだったら、何ぼ災害の訓練したって何したって一緒じゃと私は思うけど、どなたが答弁してくれるんか知らんけど。

**○大西市長室長** 今回も情報のほうがそういうふう利用されなかつたということで、大変こちらでも残念だと思えます。実際にあちらを使いますと、状況とかそういうところを写真撮影していただいて送っていただけるという利点もありますので、今後市民のほうに周知していきたいと思えます。

**○橋本委員長** よろしいか。

**○田口委員** はい、よろしくお願ひします。

**○橋本委員長** ほかにございませんか。

**○守井委員** 財政運営ということですが、財政調整基金を繰り入れるということになっているが、基本的に財政調整基金についてはできるだけ繰り越してふやしていこうという方向にあると思う。その中であって、この財政調整基金3,000万円ほど、緊急のためにも予算的にはある程度の余裕を持って予備費とかそういうものをもって運営するのではないかなあと、あくまでも財政調整基金というのは繰り越してできるだけふやしていこうという流れがあると思うが、そのあたりの財政運営はどのように考えているのか。

**○河井財政課長** 財政調整基金のほうは、今まで取り崩しを極力ないような形で運営してきて、現在28年度末の決算で39億8,600万円程度積み立てができております。さらに、28年度の決算において2分の1以上、決算剰余金の2分の1以上を積み立てしておりますので、現時点では42億3,600万円程度ございます。このたびの災害については、予備費でいけるかどうかというぎりぎりのラインでもあったわけですが、このたびについては財政調整基金から繰り入れを行い、この財政調整基金から一旦繰り入れは行いますが、最終的にはこの繰り入れをないような形で調整できればというふうには考えております。

**○守井委員** 3,000万円ほどというたら失礼ですが、やっぱりこれくらいのお金については予備費から十分対応できるような予算運用はすべきだと思いますし、もう一桁大きくなったと

してもそのぐらいの予備費的なものは持つべきではないかと私は思うが、いかがでしょうか。

○河井財政課長 現実、補正前の予備費ですけれども、1,300万円程度ほどしかございませんので、それを使ってということにはもう現実的にならなかったと、どうしても追加で提出させていただいたという絡みもございまして、補正前額とすれば1,300万円程度の予備費の中の調整という苦しい状態であったということをお理解いただけたらと思います。

○守井委員 だから、今後はどんなですかということですけど。

○河井財政課長 基本的には、極力財政調整基金からの繰り入れをしない方向でいきたいわけですが、なかなかそのとおりにいけるかどうかというのはまだ不透明な部分であります。ただ、まだ本市の場合は減債基金、それから振興基金等もございまして、そういった基金も活用しながら財政運営をしていけたらというふうに考えております。

○橋本委員長 ほかにございませんか。

○川崎副委員長 自治体の財政というのは損益が中心なので、よくわかりませんが、資産負債で8月末で組めば、当初にふるさと納税を25億円組んでいるからということでは何で補正が出てこのかなあと思えば、そういうことらしいけど、現実には7月末締めで13億円入れば、その時点ではまだ51%が財政に入ることであれば、6億円を超える剰余金があるわけでしょう。年間で20億円、月2億円ちょっとだったのを3億円オーバーして入っているわけだから、4カ月で最低4億円は当初予算の流れからいうたら予備費的なものが、まあどこの会計に入っとんかよく知りませんが、実際にもう返礼品も7月末で執行しているかどうか報告もないけど、相当ふるさと納税に関する現金はあるはずだけれど、何でこういう基金を崩すのか。当初の補正予算に、わざわざまちづくり基金の2億円幾らは一般財源に振り向けると、ということは一般財源はそれだけ豊富にあるということのあらわれでしょう。何でここで本当に今言うたように財調たった3,000万円か、1,700万円と言うたんかよくわかりませんが、そういう規模の小さいものを取り崩す必要性が、私が見る限り資産負債で抑えれば十分資金繰りが今潤沢にあるという見方をしとんやけど、そこは執行部、どう捉えとんかな。

○河井財政課長 川崎委員おっしゃられるとおり、現金としてはございます。ただ、予算を調整する中で、災害復旧にかかわる事業にふるさと納税の基金を充当するのはどうかというふうな形の中で、財政調整基金を選ばせていただいたというところでございます。

○川崎副委員長 いやいや、わざわざそういう基金は、さっきの同僚も言われたように、基金をわざわざ取り崩さない予算をここで、一般財源でやるというふうな、資金繰りをやるということが補正で大幅に出とるわけでしょう。相当一般財源の余裕があるなという見方をしていますからね。何でそういうふるさと納税の税金を使いたくなければ、もう繰越金でも1億円あって、たしかここで5,000万円ほど予備費をふやすと、予備費の範囲じゃないですか。そういうことがすんなり、そのための予備費じゃないかなあと私も思うんですよ。そういうのを含めて、準予備費みたいなふるさと納税の現金がもう金庫か通帳か知らんけど潤沢にあるわけでしょう、今6億円という、そういう金をどう使うかというのも本当に民間の貸借対照表がないということで、何

か我々の視野というのも非常に狭い範囲で単なる損益だけで、予算書だけでやっているというのには非常に問題があると思いますよ。やっぱりそこら辺もう少し資産負債の関係から、今こういう自治体の財政もたしか企業会計にやりかえていくという方向は、方向決まっていたでしょう。そういう意味では、こういうときだからこそそういう資産負債で状況を抑えて、こういう資産があるのでこういう運用をしたいとかということももう少しはっきりさせてやっていただいたほうが、我々、本当理解しにくいですよ、やっていることが。どう思いますか。

○佐藤総合政策部長 川崎委員がおっしゃられますように、寄附金が多額に入ってまいりまして、返礼品を引くと確かに現金はたくさんございます。ですが、歳出のほうは予算を伴いますので、その予算を賄うためにはそれ用の財源が必要となります。今回補正予算を計上いたしました折にも、先ほど財政課長が申し上げたように補正前の予備費とすれば1,300万円しかございません。今、議会当初に上程されております補正予算が可決されれば、6,000万円ぐらいの予備費にはなるわけですが、今現在ではその予備費はございませんので、今回についてはやむを得ず財政調整基金からの繰入金で予算を組み立てたということでございます。

○橋本委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第98号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第98号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第98号の審査を終了いたします。

それでは、予算決算審査委員会を閉会いたします。

午前10時32分 閉会